

《別紙1：基金案内》

《東北大学ヨット部 80 周年記念基金》へご寄付のお願い

白翠会会員のみなさまに

白翠会の運営ならびに現役の活動に対しまして、いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

振り返ってみますと、海そして船をこよなく愛する学生たちが集まり、昭和 13 年(1938 年)東北大学ヨット部を創部し、松島に東北水域で初めて 2 隻のヨットを浮かべて以来、先輩たちは戦後の幾多の困難を乗り越えながらセーリングに対する努力と楽しみを積み重ねてこられました。おかげで、東北大学ヨット部も今年平成 30 年、創部 80 周年を迎えることができました。

ありがたいことに、この間大きな事故もなく安全に活動が継続でき、昭和 33 年には全日本インカレで総合優勝という輝かしい伝統も築くことができました。また卒業生がみな、ヨット部活動で培った挑戦、忍耐、共生などの力をもとに、日本の発展のために大きな力を発揮してこられたことを誇りに思います。

翻って、現在の東北大学ヨット部の安全体制を見ると、レスキューボート 3 艇のうち、2 艇が老朽化のためほとんど使用不可能で、普段の練習活動すら危険な状態になっております。80 年間無事故という伝統を、100 周年に向けて継続し、活動を続けていくためには、安全確保が第一です。このようなことに鑑み、救助艇の買い換え資金調達することを主たる目的とし、東北大学ヨット部創部 80 周年記念基金として皆様からのご寄付をお願いいたしたく存じます。

所得控除の対象の寄付金とするため、一旦東北大学事務局に申込をしていただき、東北大学事務から請求書がお手元に届いてから振込をしていただくこととなります(⇒裏面)。なお、**宮城県在住の方は地方税の税額控除**も可能です。

はなはだ勝手なお願いではありますが、趣旨をおくみ取りいただきご賛同いただけましたら幸いです。

平成 30 年 9 月吉日

白翠会会長
棚橋善克

東北大学ヨット部 80 周年基金のご案内

目的：①救助艇の新規購入（約 600 万円）、②現行救助艇のエンジン更新（約 200 万円）、現役強化策（約 200 万円）

目標額：1,000 万円

募集期間：平成 30 年 5 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

申込方法：東北大学ヨット部 80 周年基金にご賛同いただける方は、別紙の申込書にご記入の上、下記「東北大学学務課」宛にご送付ください。

○郵送の場合：〒980-8576 仙台市青葉区川内 4 1 番

東北大学教育・学生支援部 学務課学務経理係 **（要：82 円切手貼付）**

○メールの場合：gaku-keiri@grp.tohoku.ac.jp

⇒ 記入した申込書をスキャンし、添付ファイルとしてメール願います。

○FAX：ファックスによる寄付申し込みは受け付けておりません。ご了承ください。

~~~~~

なお、本基金は通年の白翠会への寄付とは異なりますのでご注意ください。

**問い合わせ先**： \*できるだけメールにてお問い合わせください。

主) 本間尚文 (平 9 卒, 副部長)

副) 鈴木郁男 (昭 52 卒・副会長)

[homma@riec.tohoku.ac.jp](mailto:homma@riec.tohoku.ac.jp) (メール)

080-5503-5015 (携帯)

070-5059-4274 (携帯)

[suzuki.ikuo1955@gmail.com](mailto:suzuki.ikuo1955@gmail.com)(メール)

## 東北大学ヨット部80周年基金の流れ

今回のご寄付は所得控除の対象となります。このため、申込み(下記①)と送金(下記③)の2回お手を煩わすこととなりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

